

令和4年度森林経営管理推進事業の取組状況について

1 要旨・目的

森林所有者自らが経営管理できていない森林を適切に管理していくため、森林環境譲与税を活用し、市町が行う森林整備の促進に向けた取組に対する支援と森林整備の担い手の確保に向けた林業経営体の育成等を実施しており、令和4年度の取組状況を報告する。

2 取組状況

(1) 市町支援

森林集積に関する相談体制の構築や県による市町への直接支援等を行い、R4年度に林業経営適地4千ha、合計で6千2百ha（R12目標：4万ha）を集約化した。

ア 森林集積に関する相談体制の構築

林業経営適地の集約化に向けた意向調査等の取組を進める市町に、土地集約化や法律の専門家等を派遣し、障壁となる課題を解決した。

相談の内容	市町数	相談の内容	市町数
森林所有者の探索方法等	2	地籍調査未実施森林での取組方法	1
土地登記の整理方法	1	その他制度の内容に関すること等	5
森林の現地調査方法	1	計	10

イ 県による市町への直接支援等

市町に対して意向調査実施区域の森林資源情報や地元説明に必要な資料等を提供するとともに経営管理権集積計画の策定、経営管理実施権の設定等を支援し、林業経営適地の集約化に繋げた。



北広島町における地域調整会議

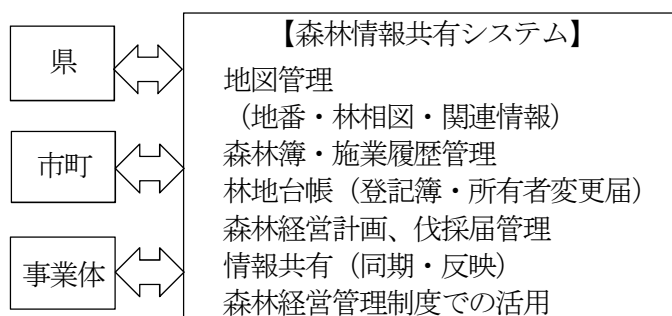
ウ 市町職員に対する研修

森林・林業の知識や森林経営管理制度の運用に係る知識等を習得するための研修を実施し、6日間で延べ120人の参加があった。

研修の内容	日数	参加者（延べ）
森林経営管理制度の実務、現地実習	5日間	101人
集約化に関する全国先進事例報告、グループワーク	1日間	19人
計	6日間	120人

エ 森林情報共有システムの整備

森林情報共有システムの本格運用により、これまでユーザー（県、市町、森林組合等）ごとに管理していた森林情報を、一元的に管理できるようにしたことで、森林情報の共有化や更新作業の迅速化が進み、市町等の森林・林業関係事務の効率化が図られた。



(2) 林業経営体の支援

林業経営者等へのマネジメント研修等に取り組み、R4年度に経営力の高い林業経営体2社を育成し、合計で9社（R12目標：20社）となった。

ア 林業経営者等へのマネジメント研修

中長期の森林整備計画の立案や持続的な企業経営・人材育成等を促すため、経営体の各部門の人材を対象として研修を開催し、延べ31人の参加があった。

イ リーディングモデルとなる林業経営体の育成

県内の規範となり得る林業経営体2社に対し、経営力強化に向けた経営戦略の策定や職場の安全管理に係る仕組みづくりに向けた取組を支援した。

取組主体	取組の成果
A 林業経営体	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期の経営戦略を策定し、受託先の拡大等、安定収益確保に向けた事業計画を作成 ・経営戦略に作業環境の改善等を盛り込み、女性活躍に向けた職場環境を整備
B 林業経営体	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期の経営戦略を策定し、森林整備事業の拡大に向け、他社との連携強化を計画 ・評価制度や賃金体系見直しによる人事制度改善や職員及び作業員の処遇改善等を実施

ウ 就業希望者・新規就業者に対する個別支援

就業相談員を広島県森林組合連合会に配置し、就業希望者に対して就業フェアやホームページ等を活用し求人情報を効果的に発信したことにより、就業相談者数は257人となった。（R3年度の約1.8倍）

就業後の定着促進のために、Webアプリケーションを活用したカウンセリングシステムによりフォローアップを実施した結果、R4年度の新規就業者は11名全員が定着している。（R3年度の1年目の定着率は約70%）

また、林業就業への関心を喚起するために、高校生を対象に林業体験学習を実施した。



就業フェアにおける就業相談

エ 低コスト再造林実証

伐採、地拵及び植栽を連携して同時に行う一貫作業や自走式下刈機を利用した下刈、ドローンによる苗木運搬等を実証しコスト縮減効果や省力化等の効果を検証するとともに、これらの取組状況について、林業関係者等を集めて研修会を開催した。

ドローンの苗木運搬の検証では、人力による苗木運搬と比較し運搬時間が約1 / 4 に短縮されコストが15%削減されることが分かった。



ドローンによる苗木運搬の状況

オ 木材利用促進

木造に関する知識・技術の習得に意欲のある建築士や、木造に関する学習機会が少ない建築系の学生を対象にセミナーを開催し、92名の参加者があった。

建築士や施主を対象として、木造化・木質化に関する様々な相談に対応するため、(一社)広島県木材組合連合会にワンストップの相談窓口を設置し、55件の相談に対応した。また、付加価値の高い県産材の需要を創出するため、家具等の製品開発を7件支援した。

3 今後の対応について

森林を適切に管理し、森林整備の更なる促進を図るため、継続して、市町の森林経営管理制度の取組等への支援を行うとともに、林業経営体の育成強化に向け、マネジメント研修の内容の充実や新たな低コスト再造林技術の実証・普及などに取り組む。

令和4年度 ドローンを活用した苗木運搬の実証

- ・ 地形や飛行距離等の条件が異なる2市町2地区において、ドローン苗木運搬の効果を実証した。
- ・ 庄原市(平坦地)では、ドローン運搬が人力運搬に比べて、所要時間が約1/2に縮減することが確認できた。
- ・ 安芸太田町(急勾配)では、ドローン運搬が人力運搬に比べて、所要時間が約1/5に縮減することが確認できた。
- ・ R3年度の実証結果と合わせて分析した結果、ドローン運搬の平均が52分、人力運搬の平均が3時間19分となり、ドローン運搬の平均所要時間が約1/4に縮減することがわかった。

① 実証地の概要及び実証結果等

○ 実証地の概要

苗木のドローン運搬と人力運搬を比較する実証に取り組んだ。

時期：令和4年10月 地区：庄原市東城町
条件：平坦地 距離：120m



時期：令和4年11月 地区：安芸太田町
条件：急勾配 距離：240m



○ 実証結果

運搬方法	1000本当り所要時間	時間縮減効果
ドローン運搬	32分	時間縮減 約1/2
人力運搬	1時間2分	

運搬方法	1000本当り所要時間	時間縮減効果
ドローン運搬	1時間7分	時間縮減 約1/5
人力運搬	5時間40分	

年度	運搬方法	1000本当り所要時間	時間縮減効果
令和3~4年度調査	ドローン運搬	52分	時間縮減 約1/4
	人力運搬	3時間19分	

② ドローン及び人力による運搬状況



荷上げの様子(庄原市)



荷下しの様子(安芸太田町)



人力運搬の状況(庄原市)